

製品名: CDK6 (PT0069R) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21561**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:37kD;Observed MW:37kD

抗原情報

遺伝子名	CDK6 CDKN6
別名	Cyclin-dependent kinase 6;Cell division protein kinase 6;Serine/threonine-protein kinase PLSTIRE;
遺伝子 ID	1021.0
SwissProt ID	Q00534
免疫原	ヒト Cdk6 の合成ペプチド

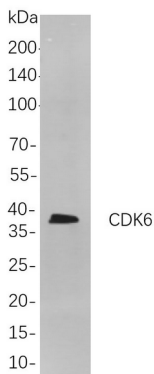
背景

細胞局在核。サイクリン依存性キナーゼ 6 (CDK6) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイクリン依存性

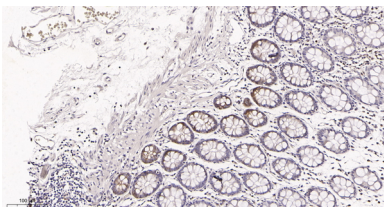
タンパク質キナーゼ (CDK) ファミリーのメンバーです。CDK ファミリーのメンバーは、*Saccharomyces cerevisiae cdc28* および *Schizosaccharomyces pombe cdc2* の遺伝子産物と非常に類似しており、細胞周期進行の重要な制御因子として知られています。このキナーゼは、細胞周期の G1 期の進行と G1/S 遷移に重要なタンパク質キナーゼ複合体の触媒サブユニットです。このキナーゼの活性は、D 型サイクリンや CDK 阻害剤の INK4 ファミリーのメンバーなどの制御サブユニットによって制御される中期 G1 で最初に現れます。このキナーゼは、CDK4 と同様に、腫瘍抑制タンパク質 Rb をリン酸化してその活性を制御することが示されています。この遺伝子の発現は、一部の癌種で亢進しています。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング変異体が同定されています。[RefS 提供]

研究分野

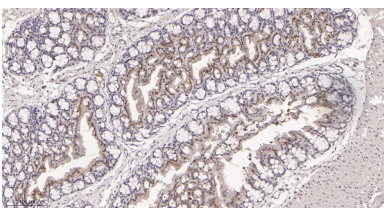
画像データ



CDK6 ウサギモノクローナル抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト結腸組織の免疫組織化学分析。1、CDK6 (PT0069R) ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス結腸組織の免疫組織化学分析。1、CDK6 (PT0069R) ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。